

「影響力ある団体に」

福原理事長 あいさつ 会員100社、さらに発展

BERC 初総会

経営倫理実践研究センター(BERC)が一般社団法人となつて初の総会が6月18日(金)、海事センタービルで開催された。

はじめに福原義春理事長から挨拶があり、「経営倫理上の問題がメディアを賑わしているが、経営倫理は景気の良し悪しに関係なく企業全体を通じて考えなくてはならない」と話した。さらに現在、約百社の会員企業が参加しており、BERC

から説明があつた。一般社団法人の設立をはじめとし、理事会・委員会の開催、実践研究活動、BEO懇話会やシンポジウム、短期集中講座などの諸行事の推進、出版物の発行、会員企業への講演など多様な分野での活動が報告された。



一般社団法人化後、初めての総会(中央は、挨拶する福原義春理事長)

統合的マネジメント部会などの実践研究活動、

諸行事の推進の予定を確認した。

また平成22年度の事業予算案についても手島専務理事から説明があり、承認された。

最後に4人の理事、1人の監事の交替提案があり、退任、新任の理事・監事から挨拶があつた(別表参照)。

Table with columns: 理事交替, 新任, 退任. Rows include: アコム株式会社 (田中 教稔), 東京電力株式会社 (萩原 繁), 東京ガス株式会社 (早川 一郎), パナソニック株式会社 (永田 真紀).

Table with columns: 監事交替, 新任, 退任. Rows include: 服部 彰, 島村 昌孝.

*1 服部公認会計士事務所代表、日本経営倫理学会会員

この へ に聞く



ふじい・あきつ 兵庫県出身。79年関西学院大経済学部卒。ポラ化粧品本舗(現ポラ)入社。秘書室、アート事業開発室長、多様な企画部長、大阪ポラ社長を経て05年執行役員、07年取締役になり08年1月から現職。53歳。

「会社としての理念や経営倫理綱領はどのようになっていますか?」 世界中の人々に笑顔と感動をお届けしたい、というのが理念になっています。ポラ・オルビスグループは、1929年創業のポラを源流に精神的支柱が構築されてきました。世界の大不況の時代に静岡県で鈴木忍により創業され、おかげさまで昨年80周年を迎えました。

「忍は妻の手が荒れているのを見て何とかしたいと独学で化粧品を作りました。一人ひとりに合った最高の商品を届けたいとの信念で、それを量り売りで丁寧販売していきました。その精神は「喜ばれることに喜びを」という言葉となって訪問販売における信条と

して浸透してきました。創業当時は男性販売員ばかりでしたが、昭和10年代初頭に女性販売員(ポラレディ)が誕生し、以来女性の働く場が少ない中で、たくさん女性の就業機会を提供して70年超が

を作りました。よき企業市民として、社会に対して責任を果たし、貢献してゆく、と定めています。これを実現してゆくのCSR活動としていきます。お客様、お取引様、従業員、株主、環境、社会という企業を取り巻

九州まで約12万人のポラレディがいます。営業所は約4500箇所。この営業所長・レディに販売技術以上にマナーやおもてなし等を基本に、徹底するようにしています。会社は社会に対する公器だということを教

を、最適なお手入れ方法を提案しています。07年にdecencia(ディセンシア)という会社を立ち上げ、乾燥性敏感肌に悩む方にご愛用いただいています。グループでは、ターゲット毎に個性的なブランドを

企業市民としての責任、貢献 ポラ・オルビスホールディングス

取締役・CSR担当 藤井 彰さん

「関係者(ステークホルダー)とともに実践してゆこうというものです。全国にポラの化粧品を販売している人は多く、CSR教育はどのようにしているのですか?」 国内では、北海道から

「インタビュアー: 経済ジャーナリスト・阿部和義」

BERC 活動(研究会など) 状況

<6月> (一部予定を含む)

Table with 3 columns: Date, Day, Event Name. Includes events like Compliance Officer's Legal Research Meeting, Unfortunate Incident Research Meeting, etc.

<7月>

Table with 3 columns: Date, Day, Event Name. Includes events like Compliance Officer's Legal Research Meeting, Case Study (Basic Course), etc.

CSR 関西部会

大和ハウスが取り組み報告

第1回部会 相談内容1位はパワハラ

大阪府商工会館で2010年度第1回BERC関西部会が5月22日開かれた。企業事例は、「大和ハウスのCSRの取り組み(企業倫理を中心)」のテーマで、大和ハウス工業CSR推進室池田圭吾氏が、発表...

2003年の企業倫理綱領制定のためのワーキング・グループが始まり、企業倫理プログラムは、「P・D・C・Aサイクルで実施している」と話した。「P」は、「企業倫理綱領・行動指針」で、基本原則は「人権の尊重・法令遵守・環境保全」...

第2回BERC関西部会が5月27日に、大阪府商工会館で開かれた。当日の講義は、ISO26000の最新動向と企業のCSR経営と中核主題への具体的な対応。CSRの共通する基本コンセプトは、①サステナビリティ(持続可能性・持続的発展)...

第2回部会 「ISO26000」など

田中宏司氏が講義

者が回収などの過程を経て、全グループ社員に配布し、CSR研修も並行して実施していることを説明した。グループ討議を深めることと、上司と部下の間や世代の間のコミュニケーションシロギヤップの対策も実施している。「C・A」では、ヘルプ...

7月21日に「時局セミナー」 ISO26000の最新動向でシンポ

ISO26000(社会的責任に関する手引き)は、今後の企業のCSR経営において今後の動向が大いに注目されている。第一部の基調講演では、宮澤武明氏(経済産業省・産業技術環境局・基準認証政策課・工業標準専門職)を講師として招聘。第二部のパネルディスカッションでは、ISO/TC261(ISO26000)の最新動向シンポジウムとして「企業のCSR経営のあり方」についてセミナーを開催する。

新任の内部監査向けセミナー(BERC主催)が2010年8月25日(水)に開かれる。当セミナーは、内部監査の目的や内部監査人に必要な専門的能力など内部監査の基礎を学ぶ第一歩と、内部統制報告制度の背景や仕組みなど制度の基礎について学ぶ第二部で構成されている。詳細は下記の通り。

年次総会 活動報告など承認 C・アメーリジャン氏が講演

平成22年度日本経営倫理学会(JABES)年次総会が、6月5日に国際文化会館で開かれた。高橋浩夫同学会会長...

平成22年度学会予算の審議があり、いずれも承認された。その後、一橋大学大学院国際企業戦略研究科研究科長のクリスティーナ・アメーリジャン氏が講演...

新任の担当者向け 内部監査セミナー 8月25日、2部制で

日時 2010年8月25日(水) 会場 BERCC 会議室(千代田区麹町)

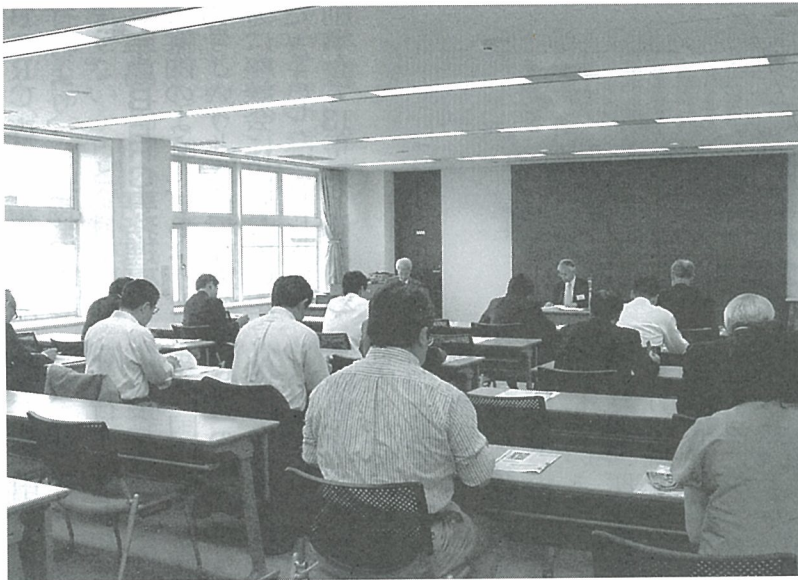
受講料 2万円(前半・後半それぞれ1万円)(税込) 会員企業、関連企業の方は無料

講師 多田直彦(BERC主任研究員、ミニストップ元常務取締役、元常勤監査役、北陸ジャスコ(株)常務取締役など、他多数の監査役を歴任) 申込・問い合わせは、BERCCホームページまたは事務局まで。

「経営倫理士講座」柱に展開

ACBEE 第1回総会 事業・決算報告など承認

NPO法人・日本経営倫理士協会(ACBEE)の第1回(平成22年度)



東京渋谷の石山記念ホールで開かれた日本経営倫理士協会(ACBEE)第1回総会

総会が、6月15日、青山ダイヤモンドビル石山記念ホール大会議室(東京渋谷)で開かれた。この後、議長に辛島理事長が選出された。この後、総会議案審議に入り、第1期事業報告・決算報告(案)、同監査報告が承認された。さらに役員の変更(小林俊治氏)および新役員選任(高橋浩夫氏、小山巖也氏)が提案され、承認された。

山中裕総合企画委員が司会を務め開会宣言の後、辛島理事長が挨拶。この中で「去年の9月にNPO法人として発足、経営倫理士資格取得講座を柱として経営倫理に関する教育・研究の普及、継続などの事業を行う。NPO法人になる以前の任意団体時から数えて既に、13年間(1期13期)に377名の経営倫理士を送り出している。これらの経営倫理士たちは、それぞれ、承認された。ひきつづき第2期事業計画・予算(案)が審議され承認した。最後に定款の一部変更(監事1人→同1人以上2人以内)が提案され、承認された。(陶)

1講座だけの受講も可能に

経営倫理士講座

第14期「経営倫理士」資格取得講座がスタート。今期から1講座(1日)のみの受講が可能となった。▽対象は原則として経営倫理士(受講料は1万円(一般2万円))▽受講希望者は、対象講座開講日の10日前までに、受講料を添えて日本経営倫理士協会まで申し込む。希望者多数の場合は、申し込み先着順。▽問い合わせ・申し込み TEL・FAX:03(5212)4133 E・メール: info@acbee-jp.org

経営倫理・CSR関連の重要テーマを、専門講師から学ぶ

● 経営倫理士資格取得講座(第14期)第7~13回スケジュールと担当講師 青山ダイヤモンドビル(渋谷区)

講座	開催日	テーマ	講師
第7回	7月13日(火)	9 企業不祥事報道の視点	奥山 俊宏 ジャーナリスト、朝日新聞社
		10 メディア・トレーニング	阿部 哲夫 ブラップ・ジャパン 執行役員
第8回	9月7日(火)	11 社会貢献活動の現状と課題	町井 則雄 日本財団 Canpan企画チームリーダー
		12 中小企業のコンプライアンス	岩倉 秀雄 日本経営倫理士協会 主任フェロー・研究員
第9回	9月14日(火)	13 経営倫理とCSR	小山 巖也 関東学院大学経済学部 准教授
第10回	10月5日(火)	14 国民生活センターの業務と課題	柴崎 信三 国民生活センター 理事
		15 消費者と企業の在り方を探る	三浦 佳子 日本消費者協会 広報部長
第11回	10月12日(火)	16 ケーススタディ(大和ハウス工業)	松本 明 CSR推進室 室長
		17 ケーススタディ(東京電力)	長濱 明彦 企業倫理グループ マネージャー
第12回	10月19日(火)	18 経営倫理の教育・研修	村松 邦子 日本経営倫理士協会 主任フェロー・研究員
		19 経営倫理...組織と人と理念	斎藤 彰悟 ビジネスコンサルタント 代表取締役会長
第13回	11月2日(火)	20 経営倫理講座の総括	千賀 瑛一 日本経営倫理士協会 専務理事
		修了テスト	
***	11月9日(火)	面接A(前半グループ)	
***	11月16日(火)	面接B(後半グループ)	
***	12月7日(火)	修了式(認定証授与)	

※担当講師、内容等は一部変更する場合があります。

資格取得へ積極モード

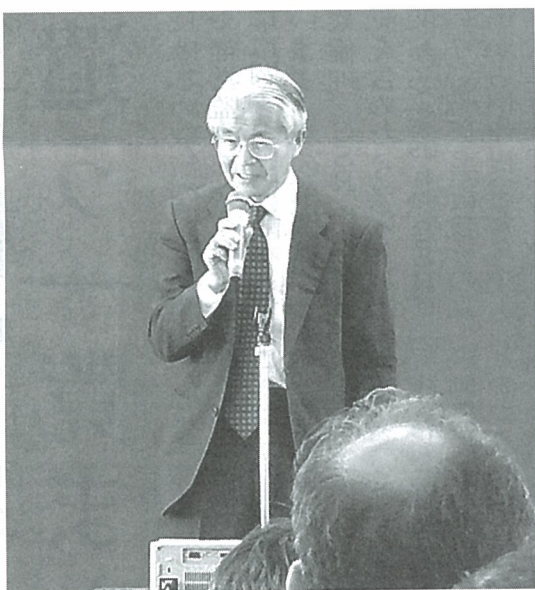
辛島理事長 「異業種交流も期待」

14期講座スタート

5月18日に、渋谷・石山記念ホールでACBEE JAPANによる第14期「経営倫理士」資格取得講座が開講した。開講式では、辛島睦同協会理事長があいさつし、講座を通じて異業種交流など、受講生間のコミュニケーションを図ること

とや積極的な質疑応答など学習を深めることを期待していると述べた。続く受講生による自己紹介では、全員、ショートスピーチながら熱弁をふるい、快活で前向きなムード。今期の受講生は38名で、互いに研鑽を積もうとする熱心な姿勢がうかがえた。

その後、同協会専務理事・千賀瑛一氏から総合ガイダンスがあった。経営倫理の究極の課題として企業不正防止があり、経済事件に関する検察の基本姿勢について解説した。「企業不正に関する検察の



経営倫理士資格講座・第14期開講式であいさつする辛島理事長

見解「経済社会を損なう者は摘発!自分勝手な利益追求、許さない!」をテーマに説明した。日本記者クラブでの検事総長と東京地検特捜部長の記者会見について分析、その中で不祥事における事件対応で重視されるものに、世論の動向があることを強調した。

総合ガイダンスの後、受講生は志望動機レポートに取り組み、休憩をはさんで、JA BEE (日本経営倫理学会) 会長で白鷗大学経営学部教授の高橋浩夫氏が「経営倫理の基礎理論」を講義した。「わが国における企

グローバルな課題にも配慮を 経済同友会が10年度CSR報告 「女性管理職拡充」など提言

公益社団法人経済同友会が「日本企業のCSR進化の軌跡」を、2010年度のCSR報告として発表した。経済同友会は03年より、21世紀におけるC

SR(企業の社会的責任)の重要性について提言活動を行い、CSRの啓発活動を続けている。今回の報告では、①今後のCSR推進におけるこれまでのCSR推進の更なる強化②グローバル視点での課題にも配慮する高い経営感度の必要性を提唱している。

調査は、同会会員企業、東証一部・2部上場企業など2817社を対象に、09年12月から10年1月に実施。445社の回答を集計。「経営者意識調査」と「自己評価シート」によるセルフチェックの第3回調査

結果と、過去の調査結果の推移から見たCSRの進化の軌跡をレポート。「経営者意識調査」では、CSRの経営者意識の深化とCSRの取り組みの持続・強化の調査結果報告と同時に、今後の課題についても言及している。

今後の課題として、①CSRの経営への反映②CSR調達基準策定③環境以外の広い視点での価値創造④ISO26000(社会的責任に関する手引き)の参照⑤人権遵守への取り組み⑥女性管理職の拡充⑦気候変動策への取り組み⑧生物多様性の方針策定⑨BOP(ピジネスへの取り組み)の更なる普及強化を提言している。

「自己評価シート」の回答結果は、ISO26000の7つの中核主題、①組織統治②人権③労働慣行④環境⑤公正な事業慣行⑥消費者に関する課題⑦コミュニティ参加及び開発について報告。回答結果を基に分析・解説を行っている。

日本のCSRの進化の軌跡として、レポートの最後は「日本企業のCSRへの取り組みが、経営の中核として扱われつつあることを示唆している」「日本企業におけるCSRは新たな方向へ進化した」と総括。社会や企業の持続的な相乗発展に向けて、日本企業の今後の貢献・尽力を啓発している。(森)

第40号を迎え 座談会

読者座談会・出席者

(アイウエオ順)

- 佐野 廣二氏
横河電機(株) 経営監査本部企業倫理・CSR部長
- 谷井 純子氏
(株)ニコン、ビジネススタッフセンター総務部
コンプライアンス室副主幹
- 松本 明氏
大和ハウス工業(株) 経営管理本部CSR推進室長
- 吉田 浩一氏
(株)ロソン、コンプライアンス・リスク統括室部長
- 手島 祥行
BERC専務理事
- 千賀 瑛一
BERCニュース編集長

千賀BERCニュース編集長 この読者座談会は、これまで20号と30号の節目で開催しておりますが、今回も第40号の記念特集として開きます。まず、BERC専務理事・手島祥行より、ご挨拶いたします。

手島BERC専務理事 ご案内のように、ちょうど40号というところで4人の方に座談会に出席していただきました。BERCは創業して13年目を迎えるわ

けですが、BERCニュースも早いもので40号、創刊はさかのぼること約7年前となります。BERCニュース第1号「創刊にあたって」の中で、故水谷会長がご挨拶申し上げていますが、「BERCニュース」を発行するにあたって非常に緊張したことを覚えております。国内唯一の経営倫理、CSRの専門紙として経営倫理の普及を目指すのだという思いでした。色々な情報を皆さんにご提供し、社内や社会に対する情報発信源として、また教育、啓蒙活動の教材としていただくべく、今後も経営倫理の立場を外さぬ範囲で情報を提供していきたいと考えております。座談会も3回目となり、忌憚のないご意見を頂戴したい。「BERCニュース」がみなさんの役に立っているのかどうか、謙虚にお聞きしたうえで、今後の発行に役立てていきたい。またどのように活用いただいているのだろうか、新しい情報をご提供していたらどうか。本日の座談会を通して、今後のようにBERCニュースをご提供できるかということを考えていきたい。昨年の10月に社団法人としてスタートしたが、社会のお役



BERCニュース読者座談会で、活発に意見を交わす吉田、松本、佐野、谷井の各氏と手島、千賀(左から)

に立てるようにBERCのなかに広報委員会を設置しました。非常に責任のある立場として我々も緊張をもって取り組んでいます。その広報委員長も千賀で、BERC全体の広報という視点も併せてご意見賜りたく思っております。

千賀 まず始めに、もっとも親しみやすい、入りやすいテーマとして、BERCニュースの使い方や利用状況についてお伺いします。みなさん普段どのようにお使いになっているの

でしょうか? 谷井純子氏 弊社では、私が所属するコンプライアンス部門のほか、広く企業倫理に関する、例えばCSR、危機管理、社会貢献や経営監査と

いった部門に配付し、業務の参考とさせていた

千賀 確認させていた

千賀 「不祥事一覧」に

手島 BERCに、ま

「不祥事概要」教訓に 神経遣う一覽まとめ 千賀

長はじめ取締役、法務部や経営監査部など経営倫理に関する部門に配布して

これは「不祥事概要一覽」の社外事例と社内起きた

ほかに、2カ月に1回

谷井さんと同様です。関係

千賀 踏み込んだ記事と

法人化を機に広報委 情報、もつと幅広く 吉田

吉田浩一氏 我が社では、取締役・監査役には全員配布しております。

「BERCニュース」はイントラネットには

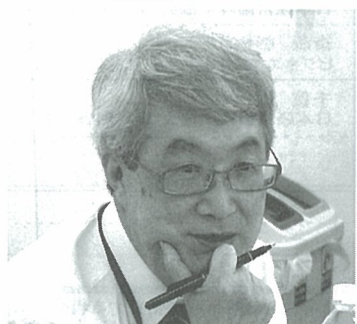
谷井 やはり企業不祥

また、再発防止策をどのよ

千賀 瑛一編集長

手島 祥行専務理事

千賀 瑛一編集長



BERCニュース面紙



谷井 純子氏



佐野 廣二氏

を推進する立場から見るとやはり不祥事に関する記事が一番参考になります。当社のメンバーによつては、「社会貢献活動の現場から」や「読んだら老けないコラム」が役に立つという社員もいます。不祥事一覧はともかく、個別の内容に関してはもう少し踏み込んでほしいという思いがあります。過去3年くらい不祥事研究会に出ていましたが、ひとつのデータを時間をかけて分析してました。記事として出していくというところがあるので、書けるところしか書いていないという印象があります。また、

BERC全体としてのどのような分科会があるのか書いてほしいですね。BERC活動一覧みたいなもので、それを外部の人が見たらひとつのPRになるのではないのでしょうか。

吉田 私どもからすると、今のレベルでもっと幅広い情報がほしいですね。足りない部分に関しては、いまはプラスアルファで調べている状況です。部署によって読み方が違いますので、興味があるところは読み込んで使っています。経営倫理に関する記事も多く目につきます。BERCの会員の記載がないので、特集の中でテーマをもって紹介したらどう

でしょうか。どこの企業が会員なのか、会員一覧がないので、次の会員さんを紹介できないのです。

手島「BERCニュー

ス」の電子化という点で、HPにしても、広報の役割と情報伝達の役割があり、HPの充実も考えています。BERCニュースとHPの在り方が問われているかと思えます。さきほどの会員一覧についても、変化が激しいので、HPでスペースを割いている。基本理念、行動理念にしても、封筒などに印刷するなどしてあります。また新しくパンフレットを作りましたが、「BERCニュース」の特徴や特性を活かしながら、他の印刷物も情報の掘り下げをしていきたい。

谷井「経営倫理 我社の取組み」は、他社の取り組みもわかり、企業紹介にも人物紹介にもなっていますので、コンプライアンス担当者である私としては非常に参考になります。ただ、先日、BERC未加入の会社さんにBERCを紹介する時に、部会一覧のようなものがなくて説明に困ったことがあります。例えば節目の4月と10月に、現在活動している部会の簡単な紹介を載せていただければ、会員にとっては状況の確認になりますし、非会員にとつてはBERCのわかりやすい紹介となると思います。

吉田 CSRの動きを見るときに、国や行政の動きが見れるとよいですね。松本「CSR、経営倫理唯一の専門紙」という表記は載せた方がよい。

欲しい「ニュースその後」最終ページに安らぎ

谷井 佐野



松本 明氏



吉田 浩一氏

松本 これは非常にいいと思います。是非継続してほしいです。佐野 最後のところ安らぎのようなものがあっていいかなと思います。佐野 法人化に伴って広報の在り方というものを考えた時に、意識をさせる必要があります。世の中の動きは変わっています。読んだら老けない「コラム」など、最終面では意識的に経営倫理の諸動向から離れたページにして

の記事があれば、経営倫理に関する仕事をしたいという方にとつても大変勉強になります。あとは専門家だけでなくとも理解できるように、分かりやすい平易な文章で書いていただければと思います。千賀 谷井さんご指摘の通り、基本的には専門性を追及していく。一方で読者の拡大、センターの浸透というのを考えると、分かりやすい紙面であればいい。

松本 BERCニュースのもともとの役割というのには普及させるというものが、都心なのか地方なのか、経営倫理をどこを中心に広めていくのかという戦略が問われているのではないのでしょうか。

CSR専門紙前面にHPもつと見やすくなる

松本 吉田

松本 CSR全体の動きとしては、ISO26000があるかと思えます。幅広く言えば、ガバナンス、コミュニケーション、消費者課題などありますが、それを全部やるというのはかなり大変だと思います。どこに焦点を当てるのか難しいですし、経営倫理の部分が薄くなってしまう

う恐れもあります。千賀 次に、「BERCニュース」の役割、目的といったテーマに移りたいと思います。経営倫理諸動向の追跡、分析などについて。吉田 不祥事が起こったから、そこからどのように改善するのかということを追いかけていかないといいません。社内での活用という

ところは、そういう場面になります。専門性というところでは、よくまとまっている見やすいと思えます。分析というところで過去の不祥事を統計的に見てどのような傾向になるのかなど、年間で振り返っていたら、非常に分かりやすい記事になる。

千賀 「読んだら老けない」など、最終面では意識的に経営倫理の諸動向から離れたページにして

現在、HP、季刊雑誌「経営倫理」、BERCニュースの三本立てで情報発信しています。できるだけ会員企業のことを最優先に考えながら専門性を高めていく。

手島 BERCニュースももちろんですが、HPをもっと活用していただき、充実させていきたいと考えております。BERCニュースとHPという両輪で、広報的役割を推進していこうと思っております。

千賀 現代は紙が少なくなっている時代ですが、そのなかで、BERC

千賀 BERCの基本的な編集方針に関して、第1号で水谷会長が話しているように、「BERCニュース」はBERCの認知度を高め、経営倫理をめぐっての諸動向を報じることとあります。その原点到ち返らなければならぬでしょう。紙面づくりでは、①正確②公平③品格の3本柱を基本としています。いろいろな新聞がある中で、専門性を打ち出すとともに、分かりやすい紙面づくりに努力してまいります。

手島 BERCの基本原理の第4項目「活動の成果を共有し産業と社会に広く貢献しよう」というものが、ありますが、広報活動もそれにそってやりたいと考えております。

千賀 日本が発行している

千賀 日本が発行している

千賀 日本が発行している

相次ぐ金融不祥事

振興銀行 SFCG

背景にトップ同士の深い関係

日本振興銀行が金融庁から5月に約4カ月間の業務停止命令を受けたのに続いて、警視庁が銀行法(検査忌避)違反の疑いで家宅捜査した。こうした時に振興銀行の創業者である木村剛氏と親交のあった商工ローン大手のSFCG(旧商工ファンD)の元会長であった大島健伸容疑者など4

人が警視庁に民事再生法違反(詐欺容疑)と会社法の特別背任の容疑で逮捕された。木村氏と大島容疑者は親交があり、こうした関係が今回の事件になつたのではないかとみられている。

木村氏は日本銀行に入り、小泉内閣で経済財政・金融担当相を務めた竹中氏の金融面のブレーンを務めている。竹中氏とは非常に親しい関係にあり、木村氏が04年4月に設立した振興銀行のオープンニングには当時の竹中大臣が出席したほどである。日銀にいた木村氏は金融に詳しいことから中小企業への融資と定期預金の受け入れに特化した銀行として振興銀行を設立した。

その当時、石原都知事も中小企業への金融を強化するということを都知事選挙の公約として掲げたことから、05年4月に「新銀行東京」を開業した。この銀行はトヨタ自動車グループの豊田通商常勤監事の仁司泰正氏が社長になり開業したが、業績は振るわずに金融庁は08年12月に銀行法

に基づき業務改善命令を出している。SFCGは08年9月のリーマン・ブラザーズの破産の影響と、貸金業法で最高裁のグレーゾーンの金利は借り手に返却するという判決が出て、経営が一気に悪化、09年2月に民事再生法の手続きに入った。そうした時に振興銀行の債権の二重譲渡が判明して民事再生法の手続きは打ち切られて破産手続きに入った。大島元会長からは2670億円相当の資産を関連会社に無償格安で譲渡していたことが発覚して、東京地裁はこの譲渡を資産隠しと指摘した。大島元

会長の負うべき損害額は717億円と査定されている。振興銀行はSFCGとのやり取りをメールでやっていたが、金融庁の検査が入るとい

ことで証拠隠滅のため消去した、という。このために検査忌避ということで警視庁が家宅捜索。今回の振興銀行とSFCGとの関係は木村

氏と大島容疑者との「緊密なつき合い」から発せられている。木村氏、大島容疑者らは今や自ら経営している会社が相次いで不祥事を起こしている。一連の不祥事はこれからのようになるか、注目を集めている。(阿)

「関連記事(表7面に

の、血の臭いを嗅いで集まったサメに食いちぎられ、白骨だけが残る。港に戻り、帆を巻いたマストを担いで坂の上の自分の小屋へともどる。

潮流

毎年夏になると、読み返したくなる小説がある。ヘミングウェイの「老人と海」である。

メキシコ湾流に小船を浮かべて84日間の不漁の後、ようやく巨大なカジキを釣る。どこにも夏とは書いてないが、星を兄弟と呼び、魚に「友よ」と語りかけるのは夏の夜にこそふさわしい。

マスとは傍目には「永遠の敗北の旗印」に見えるかもしれないが、老人は不屈で「人間は敗れるようにはつくられていない」と固く信じている。死力を尽くしたことに満足し、人間としての尊厳を失っていないければそれで十分ではないか。作者ヘミング

ストイックで剛直

「老人と海」に見る男の生き方

読むたびに、心が洗われるのはそこにストイックで剛直、鮮やかな男の生き方を見るからである。欲得に目がくらみ、人間の尊厳を損ねて平気な生き方とは無縁である。

老人はカジキを引き上げるのに4日間死闘を繰り返す。生計を立てるために魚を殺すのではない。人間には何ができて何に耐えられるかを「愛し尊敬」している魚に見せてやるためだという。最後は仕留めるも

「老人は彼を慕う少年が用意しておいてくれたさやかな食事をとる。そして若き日に漁に出かけて見たアフリカ海岸のライオンの夢を見ながら眠る。自らを信じて生きる男の清々しさが胸を打つ。企業やビジネスマンとの安易な比較はできないが、組織や個人のありかたを考えるうえでヒントになるのは間違いない。

(小山 博之)

インタビュー 経営倫理 我社の取組み (25)

日本テキサス・インスツルメンツ

エシックスダイバーシティ・オフィス 主事 竹村 正子さん



「一人ひとりに限られた環境の中で、ベストを尽くし成長する、エシックスのヒントを与えたい」と日本テキサス・インスツルメンツ株式会社(以下、日本TII)の竹村正子さんは話す。

日本TIIの価値と倫理である『誠実』『革新』『コミットメント』、行動の判断基準を考えるエシックス・テストの普及や啓蒙、通報相談窓口を担当している。また、必要に応じて研修プログラムやシステム化も受け

持っている。日本TIIでは全社員に2年に1度エシックス研修の受講が義務付けられている。一人でかなりの幅広い分野をこなすガンバリ屋さんだ。「営業所展開が始まったばかりで模索

必要と思いき、今春からは全社員に2年に1度エシックス研修の受講が義務付けられている。月1回のペースで1年続けていく計画です。まだ、社内のニーズが完全に掴めていない段階なので、すべてのこと

伝え方を変えることが必要。その効果的なコミュニケーションやセルフコントロールを核にエシックスを浸透させていきたい。放任ではなく、委任できるよう部下は自分自身の状態を上司に伝えること

に生かしている。「講師の方から専門的な知識を学ぶだけでなく、他の会社の事例を聞くことが大きい。過去の一般事例と日本TIIの事例は異なっているのだから読んでみてもわからないところが多くある。やはり具体的な他社の事例を通し、ケースに応じた対応を知ることは心強い。皆さんの輪にいれてもらっていることが気持ちのよいところになる」と情報共有できる仲間の大切さを語る。

楽しみは週1回ヨガ教室に通い、心身のリラクゼーション、パワーアップ、法令の五つの研究会に参加し、社内教育

BERC研究会で情報共有

成長するヒント与える

「固まっていなくて、走りながら考えています」と言葉が強める。さらにハラスメントの原因はコミュニケーションにある、と捉えており「上司は部下の成長具合に応じて

が求められる」と自分を良く知り、感情をコントロールすることの大切さを述べる。

BERCではCSR、ヘルプライン、ケースベースリック、パワーハラスメントの五つの研究会に参加し、社内教育

経営倫理士13期生。(若

「一人ひとりに限られた環境の中で、ベストを尽くし成長する、エシックスのヒントを与えたい」と日本テキサス・インスツルメンツ株式会社(以下、日本TII)の竹村正子さんは話す。

日本TIIの価値と倫理である『誠実』『革新』『コミットメント』、行動の判断基準を考えるエシックス・テストの普及や啓蒙、通報相談窓口を担当している。また、必要に応じて研修プログラムやシステム化も受け

持っている。日本TIIでは全社員に2年に1度エシックス研修の受講が義務付けられている。一人でかなりの幅広い分野をこなすガンバリ屋さんだ。「営業所展開が始まったばかりで模索

必要と思いき、今春からは全社員に2年に1度エシックス研修の受講が義務付けられている。月1回のペースで1年続けていく計画です。まだ、社内のニーズが完全に掴めていない段階なので、すべてのこと

伝え方を変えることが必要。その効果的なコミュニケーションやセルフコントロールを核にエシックスを浸透させていきたい。放任ではなく、委任できるよう部下は自分自身の状態を上司に伝えること

に生かしている。「講師の方から専門的な知識を学ぶだけでなく、他の会社の事例を聞くことが大きい。過去の一般事例と日本TIIの事例は異なっているのだから読んでみてもわからないところが多くある。やはり具体的な他社の事例を通し、ケースに応じた対応を知ることは心強い。皆さんの輪にいれてもらっていることが気持ちのよいところになる」と情報共有できる仲間の大切さを語る。

楽しみは週1回ヨガ教室に通い、心身のリラクゼーション、パワーアップ、法令の五つの研究会に参加し、社内教育

企業の危機管理と共通点

教訓多い宮崎の「口蹄疫問題」

ニュースの焦点

宮崎県の「口蹄疫」騒動は、国も協力して沈静化に全力をあげているものの、事態は流動的だ。

危機管理の専門家「企業のリスク管理」とも共通する点が多い。宮崎県が自分の会

社だったら、対応よりは果たして適切か、といった視点で流れを追うと、学ぶべき教訓が幾つも見つかるはずだ」と、常在戦場の心構えを説く。

口蹄疫は、肉食を中心とする欧米諸国では、食料危機に直結するとして「バイオテロ」並みの高いリスクが想定されている。それなのに県や国（農林水産省）の危機意識は希薄だったと言わざるを得ない。特に宮崎県は、知事にマスメディアを熟知している東国原英夫氏が就いている割には対応が稚拙だった。メディア慣れはしているが、リスク対応の知識・経験は乏しかったというところだ。

口蹄疫感染を公表した記者会見で、東国原知事は「風評被害を避けたい。万全に防疫や封鎖を実施する」と述べ、被害の拡大より風評被害で宮崎牛のブランドが傷つくことを懸念した。口蹄疫に汚染された牛は肉質が落ち

軽微な被害で乗り切ったとの「成功体験」がある。専門家は「県の関係者に押さえ込みに對する過信があったのではないかと指摘する。豚は往々にして大きな失敗を招く」と指摘する。

さらに今回は豚にも感染が広がるという「日本で初めての事態」が発生した。牛は専門家の間で「探知役」と呼ばれるほど感染しや

シャッター大手に課徴金

価格カルテルで55億円

シャッター業界では過去、1977年に近畿地区、89年に千葉、富山両県などで価格カルテルを結んだとして公取委が大手3社に排除勧告を出した経緯がある。またも繰り返されたカルテルに猛省を促したい。

公取委はさらに、三和シャッターの親会社である三和ホールディングスを含めた各社に総額55億2164万円の課徴金納付も命じた。課徴金は、三和シャッターが親会社の分を合わせると約28億円、文化シャッターが約20億円、東洋シャッ

今回の排除措置命令を出されたのは、三和シャッター工業（東京都板橋区）、文化シャッター（東京都文京区）、東洋シャッター（大阪市）の3社。

公取委はさらに、三和シャッターの親会社である三和ホールディングスを含めた各社に総額55億2164万円の課徴金納付も命じた。課徴金は、三和シャッターが親会社の分を合わせると約28億円、文化シャッターが約20億円、東洋シャッ

携がぎくしゃくしてしまった。感染判明直後にゴールデンウィークが始まり、中央官庁の機能がストップしたことも危機意識の共有や消毒作業の遅れにつながった。

こうしてみると、他人事ではないと考える企業の危機管理担当者には多いのではないかと

企業名	発覚日	概要
JR東日本	5月8日	JR東北新幹線のパンタグラフに取り付けられていた部品「すり板体」(重さ約5キログラム)が走行中に外れて紛失。12日、すり板体が宮城県名取市の同線路上の線路脇で見つかったと発表した。
パルス	5月11日	家具・雑貨店「フランフラン」を展開する同社が台湾の店でラベルをはり替え、使用期限切れの化粧品を販売していたと発表。
パロマ工業	5月11日	05年同社製のガス湯沸かし器を使用した2人が一酸化炭素中毒で死傷。業務上過失致死傷罪に問われていた小林敏宏元社長に東京地裁が禁固1年6カ月執行猶予3年(求刑禁固2年)の有罪判決。
半導体製造装置メーカー「エフオーアイ」	5月12日	09年11月、東証マザーズに上場した際、売上高を増加するなど決算を粉飾していたとして、証券取引等監視委員会が金融商品取引法違反(有価証券届出書の虚偽記載)の疑いで本社などを強制調査。東証が上場廃止決める。
「全日空商事」元社員	5月12日	人気テレビアニメ「デジタルモンスター」のキャラクターシールを業者に架空発注、約8600万円をだまし取ったとして、警視庁は元社員ら3人を詐欺容疑で逮捕。全日空商事の内部調査で明らかになった。
住居リフォーム会社「誠光ホーム」	5月19日	社員らが一戸建て住宅を訪問、「水道管が壊れて水漏れしている」などのうそをいって工事代などをだまし取った疑いで埼玉県警が同社社長を逮捕。
TBS	5月20日	赤松広隆農林水産相が「口蹄(こうてい)疫発生後、外遊先でゴルフをしていた」と複数の民主党幹部が証言したと報じたが、「裏付け取材が不十分だった」と同日昼のニュース番組で謝罪。
100円ライターメーカー	5月21日	子どもによるライター火災多発を受け、点火しにくい仕組みの導入を検討していた経済産業省の諮問機関が、来年夏をめどにレバーを固くするなど安全対策を義務付ける方針を決めた。
ソニー銀行元行員	5月21日	パスワードを改ざんし、顧客の口座から約3700万円を搾取したとして警視庁捜査2課は、不正アクセス禁止法違反や電子計算機使用詐欺の疑いで、元行員の松浦康真容疑者を逮捕。
チケット販売大手「ローソンエンターメディア」	5月24日	不正な資金流用で会社に損害を与えたとして、元専務ら5人に約144億円の損害賠償を求める訴訟を東京地裁に起こしたことが、株主総会で明らかになった。東京地検特捜部は6月1日、元専務らを特別背任容疑で逮捕。
砕石製造会社「立石建設工業」	5月27日	不動産売却による所得約10億円を隠し約3億円を脱税した疑いで、東京国税局が法人税法違反容疑で東京地検に告発していたことがわかった。
ビジネスインターナショナル	5月27日	インターネット上の仮想空間で「不動産投資」をうたい会員を募ったとして、埼玉県警が特定商取引法違反(不実の告知)などの容疑で自宅捜索を始めた。
NHK	5月29日	07年9月放送の「海外ネットワーク」でインドでの自動車普及の実態を特集した際、実際には車を買っていない農村の男性を買ったかのように紹介、「確認が十分ではなかった」と番組内で謝罪した。
エスピー食品	6月8日	東京国税局の税務調査により07年3月期までの3年間に計約3億円の所得隠しを指摘されたことがわかった。
日本振興銀行	6月11日	元役員らが金融庁の検査を妨害した疑いが強まったとして警視庁捜査2課は銀行法違反容疑で本店など関係先を自宅捜索。検査に際し、サーバー内に保管されていた電子メールを意図的に削除した疑いがある。
日本相撲協会	6月16日	大関琴光喜(佐渡ヶ嶽部屋)らが「野球賭博への関与を自己申告した問題で、日本相撲協会に自己申告した29人の中に親方や関取も含まれていることがわかった。
「サン・フレッシュ」など系列3社	6月17日	大手デパートで青果売り場を展開する系列3社が、法人税約1億4000万円を脱税したとして東京国税局が3社と前社長を法人税法違反容疑で干葉地検に告発。架空の仕入れ原価を計上するなどして約4億7000万円の所得隠しをしていた疑い。
FDK、東芝電池、トーカーの3社	6月23日	防衛庁発注の通信機器用電池の入札で、談合していたとして国が電池メーカー3社に約7億円の返還を求めた訴訟の判決で、東京地裁が計約3億1400万円の支払いを命じた。
コンサルタント会社「大光」	6月29日	キャンの工場建設を巡る脱税事件で東京地裁が、法人税法違反に問われた大賀規久元社長に懲役2年4カ月の実刑判決。

アナログ終了告知強化

来月1月から一部番組前倒しも

総務省と放送事業者で構成する「全国地上デジタル放送推進協議会」は4月22日、アナログ放送終了計画(第3版)を公表した。今後は常時レターボックスを常時放送することができず、両サイドをカットして放送していた

送終了の告知に努めていく。

従来のアナログ放送のアスペクト比は4:3のため、16:9のハイビジョン放送をそのまま放送することができず、両サイドをカットして放送していた

携がぎくしゃくしてしまった。感染判明直後にゴールデンウィークが始まり、中央官庁の機能がストップしたことも危機意識の共有や消毒作業の遅れにつながった。

こうしてみると、他人事ではないと考える企業の危機管理担当者には多いのではないかと

文化シャッターは課徴金減免を想定して、制度に基づき事件の一部を自主申告したとみられる。しかし、公取委は、同社がカルテルを結んだ会合の内容を否定する文書を提出したため不適切だと見送った。制度が始まって以降、適用が見送られたのは初めて。

課徴金制度は、事業者自ら関与したカルテル・入札について報告すれば、課徴金が減免される。

(Y)

が、アナログ放送の画面の上下に黒帯を入れることでアスペクト比を維持することが可能となる。これを「レターボックス」といい、一部の放送局で先行実施されているが、7月5日から原則として常時レターボックス化を行う。番組映像に重なることなく上下の黒帯にアナログ終了を告知できる点を利用し、2011年1月以降



世界の貧困解消のためにカンボジアで尽力するSEITOKUのメンバー

平成22年5月15日(土)から約一カ月間、東京ミッドタウンのデザインハブと六本木のアクシスギャラリーで「世界を変えるデザイン展」という展覧会が開かれた。世界の貧困地域などで使われている約80のプロダクトを紹介した本展覧会には、延べ25000人も来場者があり、デザイン展としては異例の大盛況のうちに幕を閉じた。この80近いプロダクトの内、日本企業のものにはわずかに3点のみ。これは、もろもろの理由はあるものの、最も大きな理由は「そもそもプロダクトがない」という理由であった。

社会貢献活動の現場から 39

SEITOKU 貧困解消へ新ビジネス 水の浄化や道路整備

世界一の繁栄を極めている国としてはお寒いながらも本当にがんばっている企業も存在する。今回は、その一つ「SEITOKU株式会社」のCSRを紹介したい。社長の阿部吉雄さんいわく、「会社のカラーは、問題解決型ビジネスを推進することなんです」と語る。この問題解決型ビジネスの一つの形が、今、世界で注目されている「BOP(ボトル・オブ・ザ・ピラミッド)ビジネス」と呼ばれるものである。先の展覧会は、この「BOPビジネス」に関する日本で初めての展覧会であった。

SEITOKUでは、カンボジアでの水の浄化と道路整備、そして灌漑用水の確保を日本の優れた技術を使って一連の流れで構築するというビジネスを始めた。現地の汚れた水を薬品の力で吸着浄化、その浄化によって出た不純物をさらに別の薬品で固める。するとアスファルトと同様の硬度になるため、これを道として敷き詰める。さらにこの道路に降った雨を道の両脇にU字溝の代わりとなる保水シートを敷き詰めて集める。ここに溜まった雨水を灌漑用水として利用するという仕組みである。そして、できた道路で最後はトライアスロンをするというおまけも付いている。世界の課題を解決しながらビジネスを展開する、そんな今後の日本企業が果たす役割の一つの形を教えてください。

(町井 則雄)

地球交差点

取材メモに残ることなど...

< 14 >

世界遺産のアンコールワット(カンボジア)の展覧会が時々、開かれているが、アンコールワットを初めて訪れたのは、21年前の1989年暮れのことだ。当時はまだ内戦中で、内戦が終結し、平和が訪れたとき、アンコール遺跡群から出土した仏像などで展覧会を開催したいという下準備のための訪問だった。

戒していたためと思われ。アンコールワットを築いたアンコール朝(9世紀〜15世紀)は、12世紀から13世紀に最盛期を迎える。一口にアンコールワットといっても、アンコール朝の遺跡は、国内の広い地域に点在しており、その数約1800といわれる。シエムレアプのホテルは、いまは充実してあると思われるが、当時のホテルは問題が多かった。洋式トイレの便座がない。レバーで水を流すと、水周りの不具合で、便器内の水が盛り上がり、汚物があふれる。停電も、やっかいだった。

ホテルのトイレと停電と



かつての興隆をしのばせる見事な石造りの建築物・アンコールワット1990年、カンボジア・シエムレアプで

アンコールワット

遺跡群の中でも、ステイルの大きさ、壮麗さという点で、代表的な建物がある。アンコールワットとは、寺院のある町という意味で、いまは一大観光地になっているが、当時は内戦中だったこともあり、国内移動とはいえず、国内移動はいえ

40歳からのAge-less

ワンポイント③2 <骨・その2>

粗しょう症、70〜80%未満だと「骨量減少」、80%以上が「正常」と診断ガイドラインが出されています。もし70%未満でも、ウォーキングなどの運動やカルシウムやビタミンD、K、イソフラボンなどの食事療法が複数該当する人は、早めに骨量測定と専門医に相談を。除去可能因子は解消努力を。医療福祉ジャーナリスト おちとよこ

読んだら 老けないコラム

引き続き、加齢で大きな影響を受ける私たちの大切な屋台骨、骨の上手なメンテナンス法をお届けします。骨の一番の加齢変化は、カルシウムやリンなどを足した骨量(ボーンマス)の減少です。骨量は、男女共に20歳ごろがピークで、45歳くらいから減少を始め、特に女性は閉経後激減します。女性ホルモンのエストロゲンの欠乏が破骨細胞数を増加させ、働きも活発化。また骨のリモデリング周期も早くなり、骨の破壊に形成が追いつかず、骨がもろくなりやすいためです。では要介護の原因になりやすい骨折を、女性はいかに予防するかですが、骨折には骨の強度が関係し、骨量が5〜6割を占める決定ファクターといわれます。そこで大切なのは、自分の骨量レベルを知ることです。自治体でも骨量健診が行われているので、末尾のチェック表でハイリスクなら40歳を過ぎたら即、一般でも閉経前後からは非検査を！。ステロイドを長期連用している人は特に要注意です。検査結果が若年成人(20歳〜44歳まで)の平均値の7割を切ると「骨粗しょう症の除去できない危険因子は、加齢(45歳以降)女性(女性)家族歴遅い初経早期閉経過去の骨折乳糖不耐症。除去可能な危険因子はカルシウム不足(高齢女性は1日850mgを目標に)ビタミンD不足リン過剰摂取食塩過剰摂取極端なダイエット運動不足日照不足喫煙過度の飲酒多量のコーヒーBMI(体重kg÷身長m)23以上ステロイド長期連用。 ※除去できない因子が複数該当する人は、早めに骨量測定と専門医に相談を。除去可能因子は解消努力を。医療福祉ジャーナリスト おちとよこ

編集後記

◆BERCニュースが40号。紙面で読者の座談会を掲載した。この座談会は3回目の企画で、BERC活動に積極的に参加して下さっている会員社の方々に出席をお願いした。◆座談会で、出席者